安 全 デ ー タ シ ー ト （ S D S ）

１．化学品及び会社情報

製品名	ダイヤモンドキーパーケミカル
会社名	KeePer技研株式会社
住所	愛知県大府市吉川町４－１７
担当部門	製品部
電話番号	0562-45-5258
FAX番号	0562-45-5268
奨励用途	自動車用コーティング剤
使用上の制限	上記用途以外に使用しない
作成日	2010年7月1日
改定日	2022年2月1日
整理番号	S-2010-8E
改定番号	

２．危険有害性の要約

GHS分類

項目	区分
エアゾール	区分1　H222、H229
引火性液体	－
急性毒性（経口）	－
急性毒性（吸入）	－
皮膚腐食性／刺激性	－
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A　H319
呼吸器感作性	－
生殖細胞変異原性	－
発ガン性	－
生殖毒性	－
標的臓器／全身毒性（単回暴露）	－
標的臓器／全身毒性（反覆暴露）	－
誤えん有害性	－
水生環境有害性　短期（急性）	－
水生環境有害性　長期（慢性）	－

※区分の記載がないものは、区分に該当しない、又は分類できない。

ＧＨＳラベル要素

絵表示：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：
H222　極めて可燃性の高いエアゾール。
H229　高圧容器、熱すると破裂のおそれ。
H319　強い眼刺激

注意書き

安全対策：
P210　熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P211　裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
P251　使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
P264　取扱い後は手と眼をよく洗うこと。
P280　保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置：
P305 + P351 + P338　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313　眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

保管：
P410 + P412　日光から遮断し、50 ℃ 以上の温度にばく露しないこと。

廃棄：
なし

３.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：　混合物

成分名／化学名	含有量(%)	CAS　No.	化審法No.	安衛法No.
エチルアルコール	35-40	64-17-5	(2)-202	No.61
シリコーン化合物	30-35	非公開	既存	非該当
二酸化珪素(非晶質)	5-10	非公開	既存	No.312
高級アルコール	1-5	非公開	既存	非該当
LPG(噴射剤)	-	-	-	-

労働安全衛生法：　通知対象物質：エタノール、シリカ。

労働安全衛生法
有機溶剤中毒予防規則：　非該当

ＰＲＴＲ法報告物質：　非該当

４．応急措置

吸入した場合：　新鮮な空気を供給すること。気分が回復しない時は医師に診せること。

皮膚に付着した場合：　一般的に本品には皮膚刺激性はない。皮膚についた部位を石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合：　眼球を流水で数分間洗い流し、医師に診せること。

飲み込んだ場合：　吐かせずに直ちに医療行為を施すこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な微候症状：　眼刺激。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：　特になし。

医師に対する特別な注意事項：　医師の判断および患者の状態に応じた対症療法を施すこと。

５．火災時の措置

適切な消火剤：　泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、水噴霧。

使ってはならない消火剤：　水のジェット散布。

火災時特有の危険有害性：　空気との混合により爆発の恐れあり。
一酸化炭素と二酸化炭素の生成の恐れあり。

特有の消化方法：　特になし。

消火活動を行うものの特別な保護具及び緊急時措置：　爆発ガス及び燃焼ガスを吸い込まないこと。
防毒マスクを着用すること。
全身防護衣を着用すること。

追加情報：　貯蔵品に水をかけ冷却すること。
消火に使った水は分けて捕集し、下水等に流入しないようにすること。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置：　防護衣を着用すること。着用のないものを近づけないこと。
火気を近づけないこと。十分に換気すること。

環境に対する注意事項：　製品が河川などに排出されないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：　吸着物質（砂、珪藻土、酸吸着物質、その他吸着剤、おがくずなど）に吸着させること。汚染された物質は指令13項に準拠して廃棄すること。

二次災害の防止策：

７．取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：　火気厳禁･喫煙禁止。
容器:直射日光および50℃を超える場所に置かないこと。使用後であっても容器を突き刺したり燃やしたりしないこと。
裸火または白熱物質の上にまき散らさないこと。
使用時、高揮発性及び可燃物を生成。
十分な換気がないと爆発性混合物が蓄積する可能性がある。

保管

適切な保管条件：　地面に浸透させないこと。
圧力容器保管の規制に従うこと。
食品と分けて保管すること。
風通しの良いところに保管すること。
霜を避けること。
推奨保管温度: 20 ° C

適切な包装材料：　特になし。

８．ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度/ppm	許容濃度/ppm (日本産業衛生学会)	許容濃度/ppm (ACGIH)
エチルアルコール	—	—	1000ppm

※記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし。

設備対策　換気を行うこと。換気は局所的または全体的にすること。換気が十分に行われないならば、物質の濃度を下限以下に保ち、適切な防護衣を着用すること。

保護具

呼吸用保護具：　通常は必要としない。作業場の換気と通気に留意すること。
手の保護具：　通常は必要としない。
眼・顔面の保護具：　保護眼鏡。通常は必要としない。
皮膚及び身体の保護具：　通常は必要としない。

９．物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	アルコール臭
融点／凝固点	—
沸点又は初留点及び沸騰範囲	78.3℃
可燃性	—
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	下限　3.5 Vol.%、上限　15Vol.%
引火点	16℃
自然発火点	—
分解温度	—
pH	—
動粘性率　(動粘度　ﾌﾛｰﾀｲﾑ)	10-15sec
溶解度	水溶性
n-オクタノール／水分配係数(log値)	—
蒸気圧	—
密度及び/又は相対密度	0.875
相対ガス密度	—
粒子特性	—

※記載なしは知見・データなし

１０．安定性及び反応性

反応性　危険な反応は報告されていない
科学的安定性　通常の条件では安定。
危険有害反応可能性　危険な反応はない。
避けるべき条件　圧力をかけると爆発の恐れあり。
直射日光および50℃を超える場所に置かないこと。
使用後であっても容器を突き刺したり燃やしたりしないこと。
火気を避けること－禁煙。

混触危険物質　強い酸化剤。
危険有害な分解生成物　なし。

１１．有害性情報

製品としての有害性情報　毒性に関する情報 本品には毒性の所見は見当たらない。
成分の有害性情報　64-17-5 エチルアルコール
急性毒性　分類上のLD/LC50 値
経口 LD50 10470 mg/kg（ラット）
経皮 LD50 >2000 mg/kg（ラット）
吸入 LC50 >20 mg/l　（マウス）

皮膚腐食性/刺激性	入手可能なデータに準拠すると刺激性物質には該当せず（通常の試験方法）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	刺激性あり。
呼吸器感作性または皮膚感作性	入手可能なデータに準拠すると感作性物質に該当せず（通常の試験方法）
生殖細胞変異原性	本品を構成する物質のいずれにも変異原性に及ぼす毒性は認められていない。
発がん性	本品を構成する物質のいずれにも発がん性に及ぼす毒性は認められていない。
生殖毒性	本品を構成する物質のいずれにも繁殖に及ぼす毒性は認められていない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	入手可能なデータに準拠すると毒性物質に該当せず（通常の試験方法）
誤えん有害性	データなし。

１２．環境影響情報

製品としての環境影響情報	本品の環境毒性に関するデータは存在しない。
成分の環境影響情報	64-17-5 エチルアルコール
生体毒性	急性有害性、慢性有害性とも区分外。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

１３．廃棄上の注意

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
廃棄する際は、中身を使い切ってから、火気のない戸外でボタンを押し、ガスを完全に抜いてから、地域のゴミ処理方法に従って廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号	1950
国連分類	エアゾール　クラス2.1
容器等級	-
国内規制	
容器イエローラベル	126　エアゾール
積載方法	運搬時の積み重ね高さは3m以下。
混載禁止	第1類及び第6類の危険物。
輸送の特定の安全対策及び条件	「火気厳禁」 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。 直射日光を避ける。 水漏れ厳禁、横積み厳禁 夏場の輸送時に於いては熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。 輸送容器は衝撃を与えないように、丁寧に取り扱う。転倒させたり、激突させたりしない。

１５．適用法令

火薬類取締法	対象外
高圧ガス保安法	対象外。エアゾールのため非該当。
消防法　()内は指定数量	第四類第一石油類、危険等級Ⅱ(400L)
毒物及び劇物取締法（毒劇物取締法）	対象外
労働安全衛生法	通知対象物質：エタノール(No.61)、シリカ(非晶質) (No.312)
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法(PRTR制度)	非該当

１６．その他の情報

参考文献　・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、ラベル、作業場内の　表示及び安全データシート(SDS)　JIS - Z - 7253 : 2019
・化学品の分類及び表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂8版（国際連合文書　2019)
・経済産業省　GHS対応　化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度
・厚生労働省　有機溶剤中毒予防規則

※注意　安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保する為の参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：青森スズキ自動車販売(株)
所在地：青森市新城平岡397-20
TEL:017-781-3311